

様式2

平成30年度「オリンピック・パラリンピック・ムーブメント全国展開事業」

事業実施報告書

学校名 静岡県立伊豆総合高等学校

- I スポーツ及びオリンピック、パラリンピックの意義や歴史に関する学び
- II マナーとおもてなしの心を備えたボランティアの育成
- III スポーツを通じたインクルーシブな社会（共生社会）の構築
- IV 日本の伝統、郷土の文化や世界の文化の理解、多様性を尊重する態度の育成
- V スポーツに対する興味・関心の向上、スポーツを楽しむ心の育成

1 実践テーマ	【 I、II、III、IV、V 】
2 実施対象者	全校生徒【600人】を対象
3 展開の形式	<p>(1) 学校における活動</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 教科名（保健体育科・総合的な学習の時間） ② 行事名（パラリンピックアスリートの講演会、学校祭） ③ その他（伊豆市等からの製作物依頼に対する協力 等） <p>(2) 地域における活動</p> <ul style="list-style-type: none"> ① イベント名（『修善寺大掃除』修善寺駅周辺でのボランティア活動）
4 目標 (ねらい)	<p>地域との連携を推進する本校の教育活動をより活発に行うために、地元（伊豆市）開催のオリンピック・パラリンピック（特に自転車競技）にかかわる教育活動を取り入れることにより、生徒がオリンピック・パラリンピックを身近に感じ、一人でも多くの生徒がオリンピック・パラリンピックに参画することを期待する。</p>
5 取組内容	<p>○【保健体育科】</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 1、2年生保健体育科（保健）の授業 <ul style="list-style-type: none"> ・授業の単元内容に応じて、授業の中でオリンピック・パラリンピックに関連した話題を取入れて実施。 ・夏季、冬季オリンピック・パラリンピックの実施競技をグループごとに考え、クラス内で発表し、実施競技についての学習を実施。 ② 2、3年生選択授業「ライフスポーツ」 <ul style="list-style-type: none"> ・資料映像を見て、オリンピック・パラリンピックの歴史、精神等を理解し、実施競技について発表し合う等の学習を実施。 自転車競技についての理解を深めるとともに各学期の筆記試験で確認。 ③ 平成30年度スポーツ庁委託事業「スポーツの価値を基盤とした教育」の実施協力。 <ul style="list-style-type: none"> ・2、3年生のライフスポーツ選択者がサイクルスポーツセンターにおいて実施している自転車競技の授業を上記委託事業の内容として実施。 <p>○【総合学科】</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 2、3年生総合的な学習の時間での授業 (2年生) <ul style="list-style-type: none"> ・オリンピック・パラリンピックレポートの作成。 オリンピック・パラリンピック競技の中から、興味のある競技を

各自で選び、調査テーマを設定してパソコン、図書等を活用した調べ学習を実施。

(3年生)

・『2020年にオリンピック・パラリンピックが来る修善寺駅』

をスタートに伊豆市を盛り上げよう！

上記のテーマを設定し、自分たちに何ができるのか、課題解決のためにどんな提案ができるのか等の具体的な取り組みを考え、クラス内、学年での発表会を実施し、全校での学習発表会でその内容を発表した。



○【オリンピック・パラリンピックアスリートによる講演会】

①講演会の実施

期日：12月20日（木）9時から10時

講師：若山 英史（わかやま ひでふみ）

※ウェルチエアーラグビー 日本代表

演題『東京2020 諦めない心の先にあるもの』

～未来ある高校生に伝えたいこと～



《生徒の感想：一部抜粋》

- ・障害のある人に対して偏見を持っていたことがとても恥ずかしく感じました。
- ・障害を持つ方々がこれだけ頑張っているのだから、自分たちはもっと頑張らなくてはいけないと思った。パラリンピックを応援したいと思いました。
- ・これから自分にどんなことがあっても、絶対に後ろを向かず前へ進んでいきたいと思いました。
- ・何事にもチャレンジして、1日1日を大切に過ごしていきたいと思いました。
- ・障害を抱えていても、キラキラしていてとてもかっこよく見えました。自分も一生懸命に頑張る姿を見習っていきたいと思いました。
- ・パラリンピックに対する関心が強くなって、大会のボランティアに参加したいと思いました。

○【修善寺周辺の大掃除によるボランティア精神の促進】

- ・生徒会主催の『修善寺大掃除』毎月1回の実施
参加生徒人数：約700人 参加部活動数：17部活
- ・地元老人会、ロータリークラブなど、地域の方々と一緒に修善寺駅周辺のゴミ拾い及び環境整備を実施。



○【競輪学校、サイクルスポーツセンター（以下、「CSC」という。）との連携】

①2、3年ライフスポーツ選択者に対して、CSC（ベロドローム）を使用した、自転車競技に関する授業を実施。

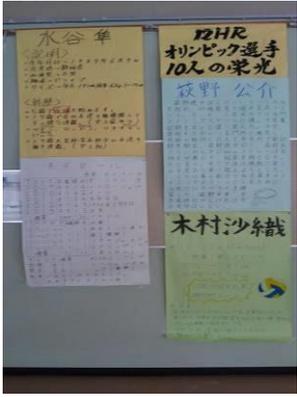
- ・2年生（9月～10月、計10時間を実施）
- ・3年生（9月～10月、計10時間を実施）
- ・指導はCSC職員が担当、生徒の体型に合わせた競技用自転車、シューズ、ヘルメットを準備していただき、ベロドロームコース内で走行、タイム測定を実施。
- ・東京2020大会の会場であるベロドロームで練習を行う、オリンピック・パラリンピック日本代表選手や海外の代表選手の走行を間近に見ることも多くあり、本物に触れる機会としてとても充実した授業を実施。
- ・海外から来ている同世代の選手と交流を図るなど、異文化交流の機会にもなっていた。



○【工業科：電気電子、機械、建築】

- ①伊豆市等からの作品の製作依頼に対する協力
 - ・狩野川公園内に設置した伊豆サイクルボードの改修 等
- ②3年生課題研究におけるオリンピック・パラリンピックに関連したテーマの実施

○【学校祭におけるオリンピック・パラリンピックに関連した取り組み】

	<p>①ホームルームでの取り組みとして、 オリンピック・パラリンピック選手についてまとめ、 校内に展示。</p> <p>②湧郷祭校内発表（展示の部）において、 オリンピックマークを 部活動での作品として 製作し校内に展示。 （茶華道部）</p>   <p>○【学校図書館内のオリンピック・パラリンピックコーナーの充実】</p> <p>①オリンピック・パラリンピック関連、スポーツ関連書籍の購入</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ふたつのオリンピック ー東京 1964/2020ー ・東京オリンピック・パラリンピックのボランティア入門 ・ルールと見どころ！オリンピック・パラリンピック全競技〈1〉～〈6〉 ・オリンピック・パラリンピックで知る世界の国と地域〈1〉～〈6〉 ・使える！スポーツ手話ハンドブック ・オリンピック 99 の謎 ・各種競技に関する専門書及び解説 等
<p>6 主な成果</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・保健体育科、総合的な学習の時間を活用した取り組みによって、2020年に迫ったオリンピック・パラリンピックに関して少しずつではあるが、行われる競技種目やその内容について興味や関心を持つことができた。また、グループに分かれて地域の活性化のために、課題を見だし、具体的な取り組みを考えるなど、一人一人がオリンピック・パラリンピックに関する地域の取り組みに参画する意識を高めることができた。 ・工業科の生徒にとっては、オリンピック・パラリンピックに関連した製作物の製作等に関わることで、同様にオリンピック・パラリンピックを身近に感じ興味や関心を持つことができた。
<p>7実践において工夫した点 (事業の特色)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・保健体育科、総合的な学習の時間の授業を中心に取り組みをスタートさせたが、新しい取組みに対して、教員が負担を感じることはないように、従来の授業展開の中にオリンピック・パラリンピックに関する知識の習得につながる内容を取り入れることとした。 ・2年生、3年生の総合的な学習の時間では、本校の特色でもあるPPL学習としてオリンピック・パラリンピックに関するテーマを設定し、地域の取り組みについて生徒が現状把握、課題、課題解決のための具体的な取り組みを考えるように実施した。また、一人ひとりが興味のある競技について調べ学習を中心にレポートを作成するなどオリンピック・パラリンピックに対する関心を高めるとともに知識の習得にも繋げるように実施した。 ・昨年に引き続き、パラリンピック選手の講演会を実施することで、非日常の世界観を感じることができるとともに、自分自身の生活を振り返る機会とし、今後の生活に対して前向きな気持ちを持つことができるようにした。

<p>8 主な課題等</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・開催地市に所在する高校として、他校とは違った特色ある取り組みを企画・立案することで、本校生徒に伊豆総合高校在学中にオリンピック・パラリンピックを体験できたことを誇りに感じるができるものとしたい。 ・本校におけるオリパラ教育への取り組みが、教員の負担が増すように感じることに繋がらないように、校内での教員への周知の方法等を工夫することが必要である。
<p>9 来年度以降 の実施予定</p>	<p>◎ 教育活動としては、本年度実施した内容を継続して実施するとともに、パラリンピックに関する知識、理解、思考についての取り組みを充実させる。</p> <p>また、以下に示す内容について検討し実施に向けた準備を進める。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各教科での、オリンピック・パラリンピックに向けた気運醸成につながる取り組み ・湧郷祭（文化祭・体育祭）における気運醸成につながる取り組み ・その他の取り組み